

石川町立歴史民俗資料館は、町の文 化財保存と活用、町民の教育、学術及 び文化の発展を目的に、昭和49(1974) 年秋に開館しました。公的施設として は、県下のさきがけの一つです。

〇「資料館便り」編集:発行 石川町立歴史民俗資料館 〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

姉妹都市角田市との交流!

~子どもたちが楽町~

石川町と宮城県角田市はかつての お殿様、石川公の縁で「姉妹都市」 の関係にあります。

7月下旬、角田市からたくさんの 子どもたちが来町し、石川の子ども たちと交流しました。

一人一人、自己紹介の後、石川町 と角田市が姉妹都市になった歴史を 勉強しました。

午後は、「鉱物の町石川」を代表す る和久観音山鉱山跡を訪れ、たくさ んの鉱物を採集しました。そして、 それぞれに、「マイ鉱物標本箱」を作 成しました。



石川町の代表的な鉱物である、長石・石英・雲母・ざくろ石・水晶等のオリジナル 標本箱で、夏休みの素晴らしい自由研究になったようです。

9月には、石川の子どもたちが角田市を訪問することになっています。両市町の末

永い交流を期待したいと思います。

姉妹都市角田市: 角田市は宮城県南部の中 心都市です。昭和53年(1978)4月、本町と 姉妹都市になりました。

天正 18年 (1590)、当地の領主石川昭光は、 豊臣秀吉による「奥州仕置」によって、石川 を去ります。その後昭光は、甥にあたる伊達 政宗に召し抱えられ、慶長3年(1598)に角 田に一万石の地を与えられました。このこと が縁となっての交流です。

昭光の孫・宗敬には、伊達政宗の次女・ **牟宇姫**が嫁ぐなど、石川家は伊達一門筆頭と

石川氏の家紋 (三本の芦をくわえた鶴)



歴史民俗資料館内で、鉱物標本を見学